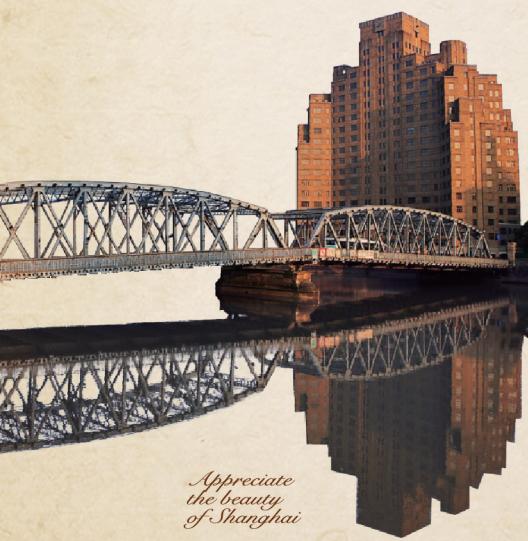


New style of Shanghai

古い上海、新しい風情

上海の歴史と現代風貌を背負っているのは古い住宅、建物である。このようなもの達が、独特な文化風情や純朴な古風を持つほかに、時代変幻を映しているイメージとも言える。さらに、その数え切れない、世の変遷の跡と不老たる伝説逸話も残されている。一軒でも近づくと、まるで時空トンネルに入っているように、それらが自身の歴史を語っている声も段々、聞こえてきて、色褪せた記憶・歴史の息吹を嗅ぐことも出来るようになってくる。もちろん、現代大都会において放つてその活潑な魅力、そのモダン・ファンション感もいっそう、味わえるようになる。

老洋館は、上海にある最も典型的な住宅である。異国風情に満ちたこのような花園別荘はおもに、一時羽振りをきかす背景あるいは詩と絵のようなロマンティックストーリー



Appreciate
the beauty
of Shanghai

リーや持つゆえに、当時、人々が羨ましがったものとなっただけではなく、今になっても、童話のような別荘に憧れを抱いている若者も少なくなっている。

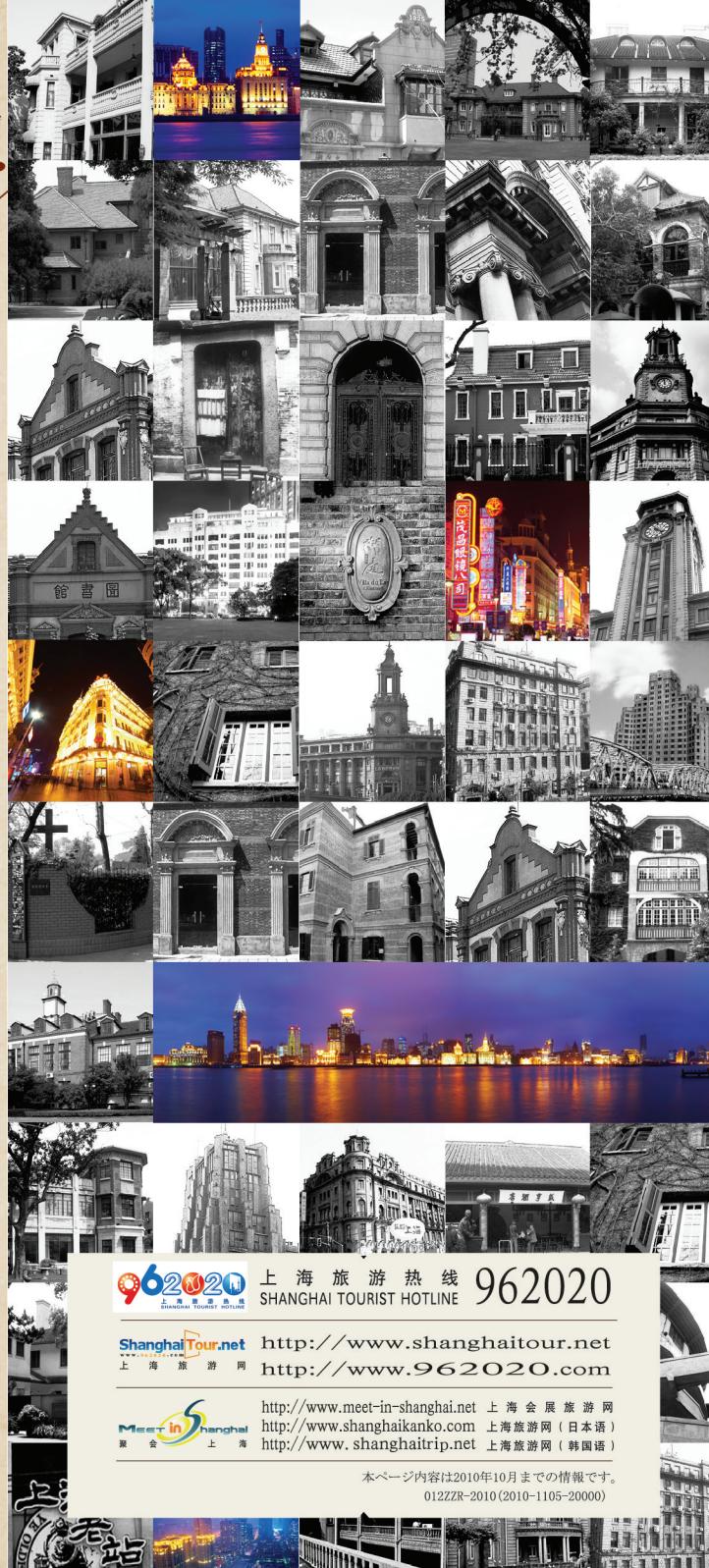
今の上海に残った古い建物は、住宅用のほかに、以下の4種類に分けられる。

一、観光・遊覧：工芸美術博物館、宋慶齡旧居、周公館、孫中山旧居、蔡元培旧居など。

二、飲食・レストラン：仙炙軒レストラン（白崇禧旧居）、百代小红楼（ラ・ヴィラ・ルージュ / La Villa Rouge）、新天地、大公館レストランなど。

三、ホテル：衡山ホテル、浦江飯店（アスター・ハウス・ホテル）、上海大廈（シャン・ハイ・マンション・ホテル）、国際飯店（パーク・ホテル）、東湖賓館（イーストレイク・ホテル）など。

四、娯楽・エンタメ：永安百貨店、上海コンサートホール、百樂門大舞厅（パラマウント・ホール）、美琪大劇院（マジエスティック・シアター）など。



962020 上海旅游热线 962020
SHANGHAI TOURIST HOTLINE

ShanghaiTour.net http://www.shanghaityour.net
上海旅游网 http://www.962020.com

Meet in Shanghai
http://www.meet-in-shanghai.net 上海会展旅游网
http://www.shanghaikanko.com 上海旅游网（日本语）
http://www.shanghaitrip.net 上海旅游网（韩国语）

本ページ内容は2010年10月までの情報です。
0122ZR-2010 (2010-1105-2000)



Shanghai China
More Discovery More Experience

上海
の美しさを
味わおう

GOLDEN
TIMES

輝いてるザ
ゴールデンデイズ
古い建築から
新しい体験を

上海市観光局
Shanghai Municipal Tourism Administration

歲流
月金

お勧めルート 観光：工芸美術博物館→ 飲食：仙炙軒レストラン（白崇禧旧居）、百代小红楼（La Villa Rouge）→ 宿泊：衡山ホテル

歲流
月金

お勧めルート 観光：1933老場坊、上海郵政博物館→ 飲食：老電影咖啡館（オールド・フィルム・カフェ）、咸亨酒店→ 宿泊：上海大廈（シャン・ハイ・マンション・ホテル）

工芸美術博物館——芸術の極み

蔵品は約300点あり、嘉定の竹彫り、象牙彫刻、玉彫り、顧瓈など民間の工芸品がここに並べられている。そのなかに、「香菇硯（椎茸のすずり）」「ザ・システムマドンナ」など傑作が、収藏された無二の宝物とも言える

建築時期：1905年

建築スタイル：フランス式後期ルネッサンス建築
連絡先：021-64311431 住所：汾陽路79号



仙炙軒レストラン（白崇禧旧居）——極上の焼肉と和食の天国

ここは元々、国民党の高級将校、白崇禧氏が住んだ官僚屋敷であり、「スマール・ホワイトハウス」という俗称を持ってきている。この鉄板焼きレストランの設計理念は、ヨーロッパのキャトル式ワインセラーである。和式鉄板焼きにレストラン自ら醸造したビル、偶然に高貴な気質に出会ったこの気持ちは、何という快適である！

建築時期：1920年 建築スタイル：フランス式ルネッサンス建築

原名：白崇禧旧居 連絡先：021-64313935 住所：汾陽路150号

百代小红楼（La Villa Rouge）——音符の海を漂ったレストラン

梅蘭芳、胡蝶、周璇など有名な芸術家がここで録音されて、聶耳、冼星海など音楽家の名曲もたくさん、ここから生み出されたのである。賑やかなオールド上海から現代の大都会への時空転換、何という不思議さ！美しい夜に、思いきり酔つてみても構わない！

原名：百代唱片公司（バテ・マルコニ レコード）中国総部
建築時期：1921年 建築スタイル：フランス式洋館
連絡先：021-64319811 住所：衡山路811号（徐家匯公園中心緑地内）

衡山ホテル——浪漫・優雅

かつて四十年代頃、上海で一番有名な六大飯店（レストラン）の一つであり、従来「東方のシャンゼリゼ一大通り」という美称を持った衡山路に位置している。さらに、徐家匯緑地と衡山パークに隣り合って、緑を満喫できる

建築時期：1934年 建築スタイル：フランス式現代建築

連絡先：021-64377050 住所：衡山路534号

1933老場坊

——ファンションの達人・先駆者 1933年に建ち、元々は上海市工部局（議会）の投資により建造された畜産の食肉解体場であった。当時の最も先端的な技術が用いられたため、建物は高かろうが低かろうが、その間に入り混じって、回廊と道もぐるぐる回り合ってきている。今、レストランやショップがオープンし、若者対象のハローワークのような施設も設けられ、言わば「ファッショントリニティ」となつた。原名：上海工部局食肉解体場。建築時期：1933年 建築スタイル：イギリス式ゴシック建築に、パシリカ式建築要素を加え、前世紀30年代、イギリスの建築士バルフォア氏の設計により建てられた。連絡先：021-6888193 住所：沙涇路10号（溧陽路に近く）

上海郵政博物館

——一切手の百年郵政博物館は全国重点文物保護機構である上海郵政ビルにあり、かつては極東一流の郵政施設として活躍した。ルーフ・ガーデンに登ると、黄浦江の岸辺の景色をひと目で余すところなく見渡せることができるため、すばらしいものがありにも多くて見きれない。建築時期：1924年 建築スタイル：イギリスの古典主義建築様式 連絡先：021-63060798 住所：北蘇州路250号

オールド・フィルム・カフェ

——白と黒の心持ち 白黒映画に時間の跡が輝き、浪漫な心を包んでいるのはカフェの匂いである。この古い洋館で秋の夕方を過ごすと、この懐かしさも永久に伝えられるであろう！建築年月：20世紀20年代 建築スタイル：洋館 連絡先：021-56964763 住所：多倫路123号

咸亨酒店（レストラン）

——オールド紹興の特色 上海多倫路文化有名人街に位置している。濃厚な紹興地方料理と正真正銘の紹興黄酒が店の特色である。飾りも古風優雅かつ精緻質素であり、文化的雰囲気も濃い。連絡先：021-56966767 住所：多倫路22号（四川北路に近く）

上海大廈（シャンハイ・マンション・ホテル）

——バンドの栄華を見極めよう！この建物は、国家级近代歴史文物保護建築として、外白渡橋のすぐ隣にあり、上海の有名な景勝地——「バンド」の中に位置している。交通便利で、素晴らしい景色も見える。原名：ブロードウェイ・マンション 建築年月：1934年 建築スタイル：新古典主義建築 連絡先：021-63246260 住所：北蘇州路20号



お勧めルート その三



周公館——革命先輩を敬仰しよう

観光：周公館、石庫門博物館、新天地→
飲食：大公館レストラン→
宿泊：首席公館

1946年に、ここは中国共産党駐上海事務所であったが、外の人に対して、「周公館」と称した。元総理、周恩来氏が四度、上海に来て、ここで発表会を開き、愛國・民主派人士と会見したことがある。

建築年月：1920年代

建築スタイル：ガーデン付き洋館

連絡先：021-64730420 住所：思南路73号

石庫門博物館——親切な

(上海語で、「家」または「家中」という意味)

「石庫門」は上海1930年代の生活空間を忠実に再現し、また、展示されている家具や骨董品は当時の本物を使っているので、カマド、灰皿、八仙卓(中国式の正方形のテーブル)、太師椅子(中国式の木製の大きなひじ掛け椅子)、レコード・プレイヤー、胭脂盒(中国の旧式化粧品セット箱)などで、変わることなく、オールド上海の生活の中にタイムスリップしたような感覚になるという。

連絡先：021-33070337 住所：太倉路181弄25号(興業路に近く)



新天地——大都会のファッショントーム

石庫門の建築群に包まれた「色っぽい」風情!現代大都会なりのファッショントームに、真夜に入りこんだヨーロッパ・ロマン、「世界の上海」の魅力はこれから、見られる!

連絡先：021-63861818 住所：太倉路181弄



大公館レストラン——高貴な家柄を感じよう

ここは、杜月笙、戴笠が住んだところである。胡蝶が使った胭脂盒、古典の洋式家具、李鴻章が字句を書き記した横額、このような時代的な物が並べられたら、「時の流れ」という神秘感、優雅感もますます増えてゆくという。

原名：杜月笙公館 建築年月：1921年
建築スタイル：ヨーロッパ式ガーデン付き洋館
連絡先：021-64157777 住所：東湖路7号

首席公館——昔の馨りを集める

旧式カメラ、レコードプレーヤーなど蔵品はともかく、ついでに壁面収納に置かれた小さなソープにしても、前世紀の、初めてに、米日用品大手メーカー、「ブロクター・アンド・ギャンブル(P&G)」の生産した製品であり、今はすでに世間唯一無二の蔵品となった!元々は、黄金榮、杜月笙らが開いた株式会社のオフィス・ビルである。

建築時期：1930年代 建築スタイル：フランス式現代建築
連絡先：021-54039888 住所：新樂路82号



蔡元培旧居——歴史上の有名人に近づく

「学界の泰斗、人世の模範」と毛沢東に誉められた民主革命家、教育家蔡元培先生が、ここに住んだのである。銅像、事務机、著作、タイプライター、スーツケースなどがそのまま、元のところに置かれている。

建築時期：明の末 建築スタイル：イギリス式ガーデン付き洋館
連絡先：021-62484996 住所：華山路303弄16号

静安ホテル——住めば住むほど、気持ちが良くなってくる

白い壁、赤い瓦、露台にガーデン、スペイン式典雅が徹底的に味わえる。都会の騒々しさもすっかり忘れられ、歳月の変遷を感じることもできるようになる。この「水晶蝦仁(海老の水晶風炒め)」など美食も上海の精華料理であり、宿泊はもちろん、飲食もいっそ、快適である!

原名：ハイグロード 建築時期：1920年代
建築スタイル：スペイン風建築の本館に日本風建築の西館
連絡先：021-62480088 住所：華山路370号



百楽門大舞庁(パラマウント・ホール)

——歌とダンスのパラダイス

夜に入ると、パラマウント・ホールがキラキラと煌いてる真珠となる。トップからの灯光は、まるで滝のように落ち込み、中のダンスホールの踊り場もとても豪華である。オールド上海のダンスステップがキーの上で踊り、各色のチャイナドレスが光の下で舞っているという恍惚絢爛とした景色になってしまう。

建築時期：1931年 建築スタイル：アメリカ近代ARTDECO風
連絡先：021-62498866 住所：愚園路128号

美琪大劇院(マジック・シアター)

——芸術の国に陶醉しよう

名前出典は「美倫美奐、琪玉無瑕(完璧に美しい玉)」という有名な京劇の大家、梅蘭芳氏とバレエのマスター、ガリナ・ウラノワ氏がここで素晴らしい公演をしたことがある。

建築スタイル：現代と古典の要素を共に融合した洋風
連絡先：021-62174409 住所：江寧路66号

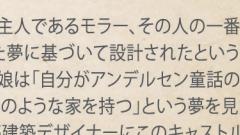


モラーヴィラホテル——リアルな童話

このハウスは、当時の主人であるモラー、その人の一番可愛がった末の娘が見た夢に基づいて設計されたといふ噂がある。その時、末の娘は「自分がアンデルセン童話をの中に存在するキャストルのような家を持つ」という夢を見た。そのゆえに、モラーが建築デザイナーにこのキャストル

別荘を設計させた。

建築時期：1936年 建築スタイル：ノルウェー式建築
連絡先：021-62478881 住所：陝西南路30号



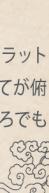
お勧めルート その四

観光：上海美術館、上海市档案館外灘新館→飲食：黄浦会、ザ・バンド・ブルワリー(外灘啤酒總匯)→ 娯楽：上海コンサートホール→ 宿泊：国際飯店(パークホテル)

上海美術館——本格的な芸術を味わおう 前身は1860年のオランダの上海租界(十里洋場)の跑馬場(競馬場)のクラブハウスであったが、上海博物館、上海図書館として使用され、現在の美術館の姿に改築されたという歴史ウニチクにも事欠かない美術館なのである。強烈な芸術的雰囲気を漂いながら、この老式建築の中から、美術品に刻まれた「魂」を探すことには、即ち自分を求め探すことという。原名：上海競馬總会 建築時期：1933年 建築スタイル：イギリス式 住所：南京西路325号 連絡先：021-63594542



上海市档案館外灘新館——展覧の旅を始めよう 観光プラットフォームから、黄浦江や万博建築群や浮き沈んだオールド大通りなど、すべてが俯瞰できる!ここは上海を見知れる窓であり、バンドの景色を楽しむ最高のところでもある!原名：フランス国郵船会社ビル 建築時期：1939年 連絡先：021-63336633 住所：中山東二路9号



黄浦会——「ゆったり」に「控え目」 黄浦会の美食は、ワールドクラスの有名な調理師、梁子庚氏が伝統的上海料理の長所を吸収し、当代の芸術逸品を作りたい心境を抱きながら、その極みの料理の腕で中華料理を愛している美食家の皆方に差し上げる傑作である。

建築時期：1916年(外灘3号、原名：ユニオン・アシュラン・カンパニーズビル、中国語で「有利大楼」) 建築スタイル：新古典主義建築 連絡先：021-63213737 住所：中山東一路3号5階(外灘3号5階)

上海コンサートホール——高雅なる殿堂思想家たちがよくここに来て、インスピレーションを探すといわれている。なぜかというと、音楽にしても思想にしても、芸術という物は互いに通じ合うのである。世界的有名な演奏家あるいは楽団もここで美しい音楽・メロディーを残した。原名：南京大劇院(シアター) 建築時期：1930年 建築スタイル：伝統的なヨーロッパ式建築 連絡先：021-53866666 住所：延安東路523号



国際飯店(パークホテル)——埃に埋もれる記憶、歳月の味 中国人が自ら資金を寄せ集め、建造した一番最初のビルであり、1930年代にアジア第一のホテルである。宋美齡、張學良、陳納德、陳毅、郭沫若など歴史上の有名人も皆、このホテルを愛顧したことがある。原名：四行儲蓄会大楼(Joint Savings Societyビル) 建築時期：1933年 建築スタイル：欧米式芸術装飾派 連絡先：021-63275225 住所：南京西路170号



孫中山旧居——革命先導の足跡 孫中山氏および妻の宋慶齡氏が1918年6月に入居し、ここで中国共産党の代表と会見し、第一次国共合作の礎を築いた。「孫文学説」、「実業計画」など重要な文書もここから誕生した。建築時期：20世紀初 建築スタイル：ヨーロッパの田舎式建築 連絡先：021-64372954 住所：香山路7号(元は莫利愛路29号)



盧湾区図書館——書物の山に、道がる 古色蒼然とした建築に寄ると、思わずこの静かで穏かな境地に入りきってしまう。毎日に勤勉な「本好き」達が朝、ここに来て、本の香りを嗅ぐ。もしかして、ある本のきっかけで記憶が目覚めるかもしれない…… 建築時期：1929年 原名：明復図書館 連絡先：021-64360835 住所：陝西南路235号

老洋房花園飯店——軽やかに舞い落ちた梧桐の雨 小さな通りに身を寄せ、プラタナスが青々と茂っている。フランス式別荘一軒と千平方メートルぐらいのガーデンで組み合せる静かな世界である。ロマンティックな芝生儀式、午後のガーデンパーティ、夜の結婚式に絶妙な花火ショー、美しい景色は今から幕が開いて行く! 建築スタイル：ヨーロッパ式 原名：杜月笙公館 連絡先：021-64333506 住所：紹興路27号



大可堂普洱会所(大可堂プーアール茶クラブ)——心に沁みる 清々しい薰り 歩き疲れた時、ここで一休みにしよう。苦いプーアール茶でも飲むと、薰りが空気に広がってきている。目を閉じて深呼吸すると、まるで蓬萊仙境に身を置くように、思わず古い住宅の典雅な雰囲気に浸り込んでしまう。建築時期：1933年 建築スタイル：洋式 連絡先：021-64676577 住所：襄陽南路388弄25号



錦江飯店(ジンジヤンホテル)——歳月が痕跡を残し、静謐が遠い所に至る 1920年代と80年代の装飾スタイルを融合し、蟹足のような形をしているタラップにしても、銅の扉と鉄の飾り物にしても、エレベーターホールの中にある面白い階層指示用時計にても、百年が経っても、この完璧な気質がまだ消えたりはしない。建築時期：1925年 建築スタイル：イギリス式ゴシック建築 連絡先：021-32189888 住所：茂名南路59号



お勧めルート その五

観光：宋慶齡旧居→ 飲食：上海老駅レストラン→ 宿泊：東湖賓館(イーストレイクホテル)



宋慶齡旧居——偉人の風

宋慶齡が1949年の春に転居してから、1963年に上京するまで、ずっとここに住んでいた。

建築時期：1920年

建築スタイル：ガーデン付きフランス式洋館

連絡先：021-64376268

住所：淮海中路1843号

上海老駅レストラン

聖地にある独特なレストラン

復古調の回廊、純白のカーテン、茶色のウッド・フローリングに、ガーデンの中に止めておく「慈禧と宋慶齡それぞの専用列車」という列車2台、目立たない古典の美が広がって行く。

原名：徐家匯修道院(聖母堂)

建築時期：1855年(清咸豐5年)

建築スタイル：新古典主義建築

連絡先：021-6427233 住所：漕溪北路201号



申粵軒レストラン(丁香花園)

——極上のガーデン付き洋館



丁香花園は、「上海にめずらしい園林の珍品」とは言えるが、今は名声が極めて高い広東式レストランに変貌した。

建築時期：19世紀末

建築スタイル：イギリス農村建築様式、中国式園林

連絡先：021-62511166

住所：華山路849号丁香花園

イーストレイクホテル

——百年の豪族

莊嚴なダーク・グレー色の洋館に、模様付きの派手なアイアンゲート。洋館の外は緑いっぱいであり、内には彫刻された模様ばかりである。1920年代、ユダヤ人であるジョセフ兄弟がこの洋館で上海の外国為替市場の半分を支配したことは考えられるのであろう?

原名：ユダヤ人ジョセフ兄弟の住宅

建築時期：1925年

建築スタイル：中国南部の庭園にフランス式別荘

連絡先：021-64158158

住所：東湖路70号



お勧めルート その八

観光：徐家匯藏書樓→ 飲食：薩莎(Sasha's)レストラン→ 娯楽：田子坊→ 宿泊：瑞金ホテル

宿泊：瑞金ホテル

徐家匯藏書樓——古い本の歴史を遡る

徐家匯藏書樓は近代、上海において規模が一番大きく、最初に建てられた蔵書樓(図書館)である。

1867年に建造された南の樓は、「神父樓」という別称を持ち、かつてカトリック教の修道士たちが住んだ所である。1896年に建造された北の樓は「藏經樓」という別称を持ち、中国と外国の文化が融合した産物である。一番底にある做藏書閣

二階の中は、ヨーロッパの図書館の様式にぞくく